

令和7年度群馬県高等学校空手道選手権大会要項

(兼 第52回全国高等学校総合体育大会空手道競技会県予選会)

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟、群馬県教育委員会
- 2 後援 群馬県空手道連盟
- 3 主管 群馬県高等学校体育連盟空手道専門部
- 4 期日及び会場
令和7年6月14日(土)、15日(日)
第1日(14日) 8:00～ ALSOKぐんまサブアリーナ
第2日(15日) 8:00～ ALSOKぐんまサブアリーナ
- 5 競技種目 団体形競技・団体組手競技・個人形競技・個人組手競技
(各男女 計8種目)
- 6 競技日程 別紙の通り
- 7 競技規定 (公財)全日本空手道連盟競技規定及び全国高等学校体育連盟空手道専門部競技規定に準ずる。
- 8 競技方法 (1)組手団体・個人、男女共にトーナメント方式、形競技は得点方式で行う。
(2)形競技の第1ラウンドは(公財)全日本空手道連盟第1・2指定形とする。第2ラウンド以降は(公財)全日本空手道連盟競技形とし1度使った形は使えない。
※上位ラウンド進出に関わる時とファイナルラウンドの時に同点が出た場合、再演武を行う。再演武で使用する形は当該ラウンドで使った形以外の形とする。以前に本戦で使った形でも良い。再演武で使った形で本戦に使っていない形はそれ以降も使える。
(3)組手競技においては、ベスト16までは試合時間1分30秒で6ポイント差とする。準々決勝戦からは試合時間2分で8ポイント差とする。
(4)団体競技におけるメンバー及びオーダーは、登録された範囲内で交代できる。
(5)団体形の分解は行わない。
- 9 審判員 (公財)全日本空手道連盟公認審判員及び群馬県空手道連盟公認審判員
- 10 参加資格 (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
(2)選手は、本県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、本連盟空手道専門部に登録を完了し、かつ、群馬県空手道連盟に有効に登録を完了していること。
(3)年齢は平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
(4)チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
(5)転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住の

場合は、特例として参加を認める。

1 1 出場制限

(1) 団体競技は、形・組手とも1校男女各1チームとする。チームは、監督1名・コーチ1名とする。監督は当該校の教員とする。なお、団体競技の競技者数は、男子及び女子組手は7名（正選手5名・補欠2名）、形は6名（正選手3名・補欠3名）とする。ただし、組手は規定の過半数の選手（5名中3名）で成立する。また、形については規定の数を満たさなければ成立しない。

(2) 個人競技は次の通りとする。

A：組手は、男女ともに正選手4名・補欠2名までとする。

B：形は、男女ともに正選手2名・補欠1名までとする。高校総体ベスト8の選手（シード選手）には別に出場枠を与える。但し、最大出場数は各校4名までとする。また、シード選手と補欠との交代はできない。

1 2 組み合わせ 5月30日（金）の午後1時より、伊勢崎商業高校において、常任委員会の責任抽選により決定する。

1 3 表彰 団体・個人とも、各種目3位まで表彰する。学校別総合は、6位まで表彰状を授与する。男子総合優勝校及び女子総合優勝校には、優勝杯（持ち回り）をそれぞれ授与する。

1 4 インターハイ出場権 男女団体組手各1チーム、男女個人組手及び男女個人形の上位各2名は、令和7年8月7日（木）～10日（日）に岡山県で行われる第52回全国高等学校総合体育大会空手道競技会の出場権を得る。

1 5 申込方法 (1) 申込締め切り 令和7年5月21日（水）必着

(2) 申込方法 ファイルに入力の上、メールにて申し込むこと。

(3) 申込先 **karate_hs@yahoo.co.jp**

不明な点は（前橋工業高校内） 吉野友晴まで
TEL. 0270-25-4551

※個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

1 6 参加費 (1) 団体各種目 1チームにつき 3,000円

(2) 個人各種目 1名につき 500円

1 7 その他 (1) 組手競技出場者は、次の安全具（J K F公認）を装着しなければならない。シンガード及びインステップガードは全国高体連指定品でなければならない。

1 ニューメンホーVI・VII 2 拳サポーター（赤・青）

3 ボディプロテクター 4 シンガード・インステップガード

5 セーフティカップ（男子のみ）

※マウスピースを使用しても良い（任意）。ただし、色は白色か透明なものとする。

(2) 出場選手の左胸に規定の大きさの校名マーク、左肩に県名マークを付けなければならない。

- (3) 個人名の刺繍を入れる場合は黒色とし、姓（名字）又はフルネームであることが望ましい。（個人名はなくてもよい）指定箇所以外の刺繍は禁止する。
- (4) 事故の処置について 応急手当は大会本部で行うが、その後の処置については各校で対応する。（保険証持参）
- (5) 新型コロナウイルスの対応については、原則、各中央競技団体のガイドラインや自治体の指針に従うこととし、その他、教育委員会や高体連事務局からの方針等があった際はそれに従うこととする。